

第12回 Working Party 5C会合 報告書 (案)

1 WP5C 会議の概要

WP5Cは、固定無線システム、固定及び陸上移動業務を含む30MHz以下のシステムに関する技術的検討を行っている作業部会である。

第12回WP5C会合は、2013年11月18日（月）から11月27日（水）までの8日間（土曜・日曜は会議なし）、スイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。本会議には、35カ国、11機関から124名が参加し（11月27日付けの最終参加者リストDoc. 5C/234による）、日本からは別紙のとおり7名が出席した。全体議長は、Charles Glass（米国）が担当し、表1に示す4つのWGにおいて、今回会合で入力された60件の寄与文書（日本からの寄与文書2件を含む）等について審議が行われた。また遅れて提出された3件の文書を非公式文書としてWG5C-4で内容が議論された。

審議の結果、改訂勧告案ITU-R F.1105-2及び勧告改訂案ITU-R F.1336-3を含む6件の文書をSG5に送付し、リエゾン文書19件を承認、11件の暫定文書（暫定勧告案、暫定新レポート改訂案、暫定新ハンドブック案、作業文書等）を議長報告に添付した。

表1 WP5Cの審議体制と出力文書数

グループ	担務内容	議長	審議した 寄与文書数	次回会合で 審議する作 業文書数等	WPで承認 したリエゾン 文書数	SG5へ 送付した文 書数
WP5C (Plenary)	固定無線システム、固定及び陸上移動業務用のHFあるいは30MHz以下のシステム	C. Glass (米国)	(合計60) 10	(合計11) 0	(合計16) 0	(合計6) 0
WG 5C-1	30MHz以下の課題	C. Glass (米国)	7*	2	0	0
WG 5C-2	30MHz～18GHzの課題	N. Ali (英国)	13*	3	7	0
WG 5C-3	18GHz以上の課題 3つのWGに関連のない全般的な課題	R. Bunch (豪州)	11*	4	2	0
WG 5C-4	既存勧告・レポートの見直し	橋本 (日本)	19*	2	7	6

*注：一部はWP5A-5C合同Ad Hoc会合でも審議を実施

2 主要結果

・ 勧告ITU-R F.1336-3改訂に関する作業文書の審議 1-70GHzにおける共用研究用P-MP方式オムニ、セクタアンテナ等基準放射パターン

日本提案を元に勧告改訂案の作成が行われ、Annexの見直しを含めてほぼ日本提案通りにまとめられた。特に日本案と異なる点としては、エリクソンの提案に基づき、improved typeのパラメータ値はIMT基地局用セクタアンテナにも適用されるとの文言が、関連個所に付加され、タイトルでも、移動業務用基地局アンテナにも適用できるように拡張された。改訂されたタイトルは、Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas for the fixed and mobile services for use in sharing studies in the frequency range from 400 MHz to about 70 GHzである。また、Scopeにおいて他のアンテナ（other antennas）の周波数範囲を明確にするような修正が加えられて、最終的に本勧告改訂案はSG5に送付することが合意された。これにより、WP5Aと合同で進めてきた本勧告の改訂作業は、日本提案通り今会合で終了した。さらにWP5Dに対しては、WP5Dからの有用な返答リエゾン文書に感謝するとともに本勧告改訂作業が終了したことを伝えるリエゾン文書を作成して送付された。

・ FWSの技術や応用の将来動向に関する新レポートITU-R Report F.[FS USE-TRENDS]
新レポートITU-R F.[FS USE-TREND]に関するCGからの報告に加え、米国、カナダ、ポーランドから入力された寄書、並びに会合中に提案されたETSI文書内容等をマージした暫定新レポート案を作成した。Section 5.1のDeployment scenarios については、現在 WG5C3 で審議している新勧告作業文書 Deployment Scenario に大幅に内容を移し、本レポートでは、短いサマリを記載するにとどめることとなった。今回会合での変更部分が増えたこと、及び、現在未記載のSection 5.2 Spectrum requirements の章は、重要であるのでこの章も次回会合以降に追記すべきであると米国、英国等が主張したことから、今会合での Draft へのアップグレードは見送り、継続審議し、2014年後半会合での成立を目指すこととなった。さらに、WP5A へのリエゾン文書の送付、及び、本レポートへの入力を促進するためCGの延長が承認された。

・ 暫定改訂勧告案ITU-R F.1105-2の修正提案 災害救援のための固定無線システム
前回会合において議長報告に記載された、標記勧告案について、改訂のサマリ、エディターズノートの記載事項の反映、他エディトリアル修正を含む微修正を加えることで、改訂勧告案としてWP5C会合に引き続き行われる、SG5会合に提出することを提案し、承認された。

・ 電子式ニュース取材方式（ENG）に関する審議

IMTを含むモバイルブロードバンドネットワークをENGアプリケーションに利用するカナダからの寄与文書と、オーストラリアより提出された勧告ITU-R SA.1154「宇宙研究（SR）、宇宙運用（SO）及び地球探査衛星業務（EESS）の保護と、2025～2110 MHz帯及び2200～2290 MHz帯の周波数共用支援のための方策」の一部改訂に関するWP7Bへのリエゾン文書案（5C/223）、及びITU-R決議59に関連したENGデータベースのフォーマットに関する提案文書（5C/224）に関して、詳細議論はドラフティング・グループ（DG5C-2a）で行われた。同DGでは、特に、勧告ITU-R F.1777の改訂案に関する作業文書の改訂に関連して、モバイルブロードバンドネットワークをENGアプリケーションに利用することについて記載するカナダの改訂案について、オーストラリアによる反対を受け、最終的に作業文書のnoting部分には、勧告ITU-R M.1824を参照することのみを記載することが決定され、次回のWP5C会合にキャリアフォワードされることになった。また、日本より、同改訂案で提案されているアナログシステムの特徴に関する記載部分を削除する案について、次回WP5C会合で改めて審議することが提案され、承認された。

3 審議内容

3.1 WG 5C-1

- (1) 議長： C.Glass（米国）
- (2) 主要メンバ： C.Glass（米国）、B.Price（米国）、R.Bunch（オーストラリア）、白井、橋本、荒木、植田、大槻、枚田、ジュター など約 25名
- (3) 入力文書： 5C/120(WP5A), 5C/121(WP5A), 5C/175,(WP5A), 5C/177(WP1A), 5C/180(WP1A), 5C/187(ITU-T SG15), 5C/198(BR ディレクタ), 5C/208(ITU-T SG9), 5C/217（カナダ）
- (4) 出力文書： 5C/TEMP/116, 133
- (5) 審議概要：

WG5C-1は、30MHz以下の課題について審議を行うWGである。同WGは今会合期間中に2回開催された。7件の新規入力文書のうち、4件のインターセクタリエゾン文書（5C/208, 187, 180, 177）における5C/208, 187の2件の文書に関しては、WP5CとWP5Aとのアドホック・ジョイントミーティングにおける共同審議後、WP5A主導で共同リエゾンを作成することが決定され、最終的に2件の出力文書（勧告ITU-R F.1778についての暫定改訂案及びWRC15議題1.4に関するWP5Aへのリエゾン文書）が作成された。SG5へ送付された文書はなかった。

主な審議結果は以下の通りである。

- ・ インターセクタリエゾン文書（5C/208, 187, 180, 177）：4件のインターセクタ

リエゾン文書(①有線通信システムと無線通信システムとの共存に関するITU-T SG9からのリエゾン文書(勧告ITU-T J.195.1 (J.HINOC-REQ)に係る作業の検討)(5C/208)、②勧告ITU-T G.fast PSD Specificationの確定に関するITU-T SG15からのリエゾン文書(5C/187)、③WP1AからITU-T SG5へのリエゾン文書(無線信号と無線デバイスまたは有線ブロードバンド網とCATV網に接続されたケーブルとの混信に関する検討)(5C/180)、④(有線通信(PLTを含む)と無線通信の共存、勧告ITU-T J.195(J.HiNoC-req)の作業についての検討に関するWP1AからITU-T SG9へのリエゾン文書(5C/177))が提出された。③及び④についてはノートすることになり、①と②に関しては、WP5CプレナリでWG5C-1及び5C-2、及びWP5CとWP5Aとのアドホック・ジョイントミーティングにおいて共同審議され、WP5A主導で共同リエゾン文書(5C/TEMP/145, 146)を作成することが決定された。

- ・ 勧告ITU-R F.1778についての暫定改訂案：カナダの入力文書(5C/217)を基に暫定テキスト案が作成され(5C/TEMP/116)、議長報告書に添付されることが決定された(詳細は3.1.1参照)。
- ・ WRC15議題1.4関連：同議題に関して、前回のWP5C会合でWP5Aより提出された2件のリエゾン文書(アマチュア局の特性、共用検討、CPMテキスト作成等の作業進捗について連絡する内容の文書(5C/120)と、アマチュア業務システムと陸上移動業務システムとの両立性検討を行う上で、陸上移動業務用に策定されている勧告ITU-R M.1795で記載されている内容の確認を求める文書(5C/121))に対し、5MHz帯における固定・モバイル業務と新たなアマチュア無線への割り当て間の共用に関して、WP5Cの推奨するメソドロジー(具体的なガイダンス)の適用時における手順を説明する内容を含んだWP5Aへのリエゾン文書(5C/TEMP/133)が作成された。

また、同議題に関連して、5250-5450 kHz帯においてアマチュア業務に追加で二次分配することを検討するWRC-15議題1.4に関し、本議題の責任グループであるWP5Aの現在の進捗状況を知らせ、適宜関連WPの意見を求めるWP5Aからのリエゾン文書(5C/175)についてはノートする(同トピックに関心を持つWP5CメンバはWP5Aの審議に直接参加し、意見を述べる)ことが決定された。

- ・ BRディレクタからの情報提供文書(5C/198)：WRC-12において、8.3-9 kHz帯が気象援助業務用に特定されたが、CISPR(国際無線障害特別委員会)で規定している無線電波の保護基準は9 kHz以上であり、CISPRは、現在の規定を8.3-9 kHz帯からの干渉による問題が把握できておらず、現時点では、現行規定を同帯域へ拡張することを見送ったことを通知する内容の文書で、WP5C(WG5C-1)に対し特段のアクションを求めているわけではないため、ノートされた。

- ・ その他、第11回WP5C会合の議長報告書（5C/171）に関連して、前回の議長報告にはないが、2つのハンドブック（①HF Handbook②adaptive HF tutorial Handbook）については、前回のWP5C会合でもキャリアフォワードされており、各主管庁の入力を求めている。しかし、今回のWP5C会合でも入力が得られなかったため、再びキャリアフォワードし、今後も継続して各主管庁からの入力を求めることになった。

3.1.1 勧告ITU-R F.1778についての暫定改訂案

入力文書： 5C/217 (カナダ)

出力文書： 5C/TEMP/116

審議内容：

2007年に採択された、固定業務でのHF帯適応型システムによるチャネルアクセスの方針や手法を示すことにより、他のシステムとの間の干渉の最小化を図ることを目的とする勧告TU-R F.1778について、技術革新を考慮した改訂（dynamic frequency selectionに関するセクションを新たに追加等）を提案するカナダからの文書（5C/217）を基に、カナダのChristensen主導で、暫定勧告改訂案（5C/TEMP/116）が作成されて議長報告書に添付し、次回WP5C会合にキャリアフォワードすることになった。

3.2 WG 5C-2

(1) 議長： N.Ali（英国）

(2) 主要メンバ： C.Glass（米国）、R.Bunch（オーストラリア）、A.Klyucharev（ロシア）、M.Christensen（カナダ）、白井、橋本、荒木、植田、大槻、枚田、ジュターなど約40名

(3) 入力文書：

General： 5C/171（WP5C議長）

ENG関連： 5C/224（オーストラリア）、5C/223（オーストラリア）、5C/216（カナダ）

議題1.1, 1.2関連： 5C/205（WP5D）、5C/176（WP5D）、5C/174（WP5A）

議題1.6.1, 1.6.2関連： 5C/200（WP4A）

議題1.8関連： 5C/199（WP4A）

議題1.9.1関連： 5C/201（WP4A）

議題1.11関連： 5C/192（WP7B）

議題1.12関連： 5C/190（WP7C）

議題1.16関連： 5C/196（WP5B）、5C/168（WP5B）

(4) 出力文書： ENG関連： 5C/TEMP/131, 129, 127, 128

その他：5C/TEMP/132, 130, 126, 125, 124, 123

(5) 審議概要

WG 5C-2は、30MHz～18GHzの課題について審議を行うWGである。同WGは今国会合期間中に3回開催され、第11回WP5C会合議長報告の関連Annexと計13件の新規入力文書について審議を行い、10件の出力文書を作成した。10件の出力文書のうち、ENG及びITU-R決議56に関する3つの文書（5C/TEMP/131,129,127）をキャリアフォワード、残りの7つの文書はWRC15議題に関連した他のWPへのリエゾン文書が大部分を占める。なお、以下の議題についてはDrafting Group (DG)を設置した。

- ・ DG 5C-2a: ENG関連： 議長：R. Bunch（オーストラリア）

主な審議結果は以下の通りである。

- ・ ENG関連: 5C/224（オーストラリア）、5C/223（オーストラリア）、5C/216（カナダ）からの新たな入力文書、及び議第11回WP5C議長報告書の関連添付文書（5C/171 Annex 1, 5C/171 Annex 2, 5C/171 Annex 3）に基づき、DG会合が2回実施され、4件の出力文書が作成された。これらの出力文書は、①勧告ITU-RF.1777の改訂に向けた改訂作業文書（5C/TEMP/127）、②勧告ITU-RSA.1154の改訂案に関するWP7Bへのリエゾン文書（5C/TEMP/128）、③ENGデータベースに関する提案（5C/TEMP/129）、④ITU-R決議59に関するWP5Cの改訂作業計画案（5C/TEMP/131）である（詳細は3.2.1参照）。
- ・ WRC-15議題1.1, 1.2関連： 本会合で入力された5C/205(WP5D)「WRC-15議題1.1に向けた周波数共用のための諸元に関するJTG4-5-6-7へのリエゾン文書（WRC-15議題1.1に関連する全てのグループに参考送付）」、及び5C/176（WP5B）「WRC-15議題1.1のための準備 – 追加の技術・運用特性に関するJTG4-5-6-7へのリエゾン返答文書」、5C/174(WP5A) WRC-15 議題1.1に関連するIMTを除く広帯域地上移動用の周波数要求のリエゾン返答文書」についてはいずれもノートされた。
- ・ WRC-15議題1.6.1,1.6.2関連： WP4Aによる第1地域と第2・3地域における静止軌道衛星利用固定衛星業務(GSO FSS)への追加分配の可能性（10-17GHz帯）の研究に関する入力文書（5C/200）に関して、WP5Cのコメント（第2地域において当該周波数帯（14.5～15.35 GHz帯）で固定業務を密に使用しているカナダの情報と、アンテナパターンについてイタリアからの情報を記載）をまとめたWP4Aへのリエゾン返答文書（5C/TEMP/126）が作成された。
- ・ WRC-15議題1.8関連： 暫定新報告案ITU-R S.[ESV]「固定衛星業務ネットワーク内で運用されている船上地球局からの送信が周波数を共用する地上局に及ぼす干渉の影響（6/14GHz帯）」の作業文書に関するWP4Aからのリエゾン文書

(Doc.5C/199) が提出された。同文書に対し、WP5Cからのアンテナ直径が小さくなった場合の質問に対して、WP4AはKu帯 (1.2m) の場合しか回答していないため、C帯の場合はどうなるか、及び作業文書のAppendix 1において異なるESV e.i.r.p制限値が記載されている点について更なる説明を求めるためのWP4Aへのリエゾン返答文書 (5C/TEMP/130) が作成された。

- ・ WRC-15議題1.9.1関連：静止衛星軌道利用固定衛星業務(GSO FSS)への追加分配の可能性(7/8GHz帯)に関する研究に関するWP4Aからのリエゾン文書(5C/201)が提出された。同文書に対し、7 150-7 250 MHz帯において静止軌道方向にアンテナ指向方向が向くことを避ける措置を講じていないFS局の保護等の問題への対応について、WP4Aからの継続的な情報提供を求めると共に、8 400-8 500 MHz帯及び7 150-7 250 MHz帯において普及が想定される異なる種類のFSS地球局の数についての情報を暫定レポート案に含めることを求めるWP4Aへのリエゾン返答文書 (5C/TEMP/125) が作成された。
- ・ WRC-15議題1.11 関連：同議題に関連した「7-8 GHz周波数帯における地球探査衛星業務(EESS) (地球から宇宙) と固定業務の共用」に関するWP7Bからのリエゾン文書 (5C/192) について、議題1.11に関するCPM用文書案についてレビューを行ったが、現時点で特段のコメントはない旨を通知するWP7Bへのリエゾン返答文書 (5C/TEMP/124) が作成された。
- ・ WRC-15議題1.12関連：同議題に関連した「8 700-8 750 MHz周波数帯および10 000-10 500 MHz周波数帯における地球探査衛星業務 (能動) と固定業務の共用に関する研究」についてのWP7Cからのリエゾン文書 (5C/190) が提出された。同文書について、改訂された暫定報告書案ITU-R RS.[EESS-9GHz_FS/MS/AS]と議題1.12のために作成されたCPM用文書案の更新案についてレビューを行ったが、現時点で特段のコメントはない旨を通知するWP7Cへのリエゾン返答文書 (5C/TEMP/123) が作成された。
- ・ WRC-15議題1.16関連：同議題に関連し、VDES (VHFデータ交換システムの衛星コンポーネントVDE-SATIによるダウンリンク (衛星から船舶) およびアップリンク (船舶から衛星) と他の移動局・固定局との間で干渉が生じる可能性があり、利用を想定している周波数帯における移動局・固定局の現状・将来の利用動向やその特性を理解するため、WP5Cに意見を求めるWP5Bからのリエゾン文書 (5C/168) が提出された。同文書に対し、VDEの衛星コンポーネントについて、WP4Cが提案している衛星へのアップリンクは現行AISと基本的に同様であることから、追加での共用研究は必要ないこと、及び勧告ITU-RF.758において138-174MHz帯について固定業務の特性 (方式パラメータ) に関する記載はないことについてWP5Bの注意を促すことを記載したリエゾン返答文書 (5C/TEMP/132) が作成された。また、VDEの衛星コンポーネントに関してWP4A

からWP5Bに提出（WP5A及びWP5Cにコピー）されたリエゾン文書（5C/196）については、返答リエゾン文書の作成は必要ないと判断され、ノートされた。

3.2.1 電子式ニュース取材方式（ENG）関連

入力文書： :5C/224（オーストラリア）、5C/223（オーストラリア）、5C/216（カナダ）、5C/171 Annex 1, 2, 3, 15, 16（第11回WP5C会合議長報告書）、5C/47 Annex 13（第9回WP 5C会合議長報告）

出力文書： 5C/TEMP/127, 128, 129, 131

審議内容：

前回のWP5C会合の議長報告書に添付された関連添付資料と、本WP5C会合で入力されたオーストラリアからの2件の文書（5C/223, 224）及びカナダからの1件の文書（5C/216）について、会期中2回開催されたDG5C-2aで議論が行われ、4件の出力文書（5C/TEMP/127, 128, 129, 131）が作成された。

IMTを含むモバイルブロードバンドネットワークをENGアプリケーションに利用する場合に、勧告ITU-R M.1824を参照すること、及びモバイルブロードバンドネットワークをENGアプリケーションに利用する場合は、勧告ITU-R M.1824 Annex 2のガイドラインに従えば有益であることを当該noting部分に追記することを提案するカナダの入力文書（5C/216）を基に、勧告ITU-R F.1777の改訂案に関する作業文書の改訂が行われた。モバイルブロードバンドネットワークをENGアプリケーションに利用することについて勧告F.1777に記載する同作業文書改訂案については、オーストラリアによる反対を受け、WP5A-WP5Cアドホック・ジョイントミーティングでは、放送を所掌するSG6（WP6A）に対してリエゾン文書を送付し、見解を得ることも提案されたが、審議の結果、当該noting部分には勧告ITU-R M.1824を参照することのみを記載することとなり、最終的にSG6へのリエゾン文書を作成しないことが決定された。同改訂作業文書（5C/TEMP/127）は次回のWP5C会合にキャリアフォワードされることになった。また、日本より、同改訂案で提案されているアナログシステムの特徴に関する記載部分を削除する案について、次回WP5C会合で改めて審議することが提案され、承認された。

オーストラリアより提出された勧告ITU-R SA.1154「宇宙研究（SR）、宇宙運用（SO）及び地球探査衛星業務（EESS）の保護と、2025～2110 MHz帯及び2200～2290 MHz帯の周波数共用支援のための方策」の一部改訂に関して、同勧告案のAnnex 3について、現在のデジタルENGシステム及びその活用・導入に関する特徴を考慮して改訂を行うことをWP7Bに提案する入力文書（5C/223）を基にリエゾン文書案が作成された。カナダより、2200－2290MHz帯は、多くの国で宇宙業務に利用されている周波数帯であり、国家レベルでの調整が必要となる可能性があることから、ENGシステムとの共用に関して再考する必要があるとの指摘があり、オース

トラリアより、同国では同帯域における宇宙業務を保護するために包括的な研究を実施しており、その研究結果（オーストラリアでは公開情報である）をシェアポイントに上げるなどし、公開することは可能とのコメントが出された。また、同リエゾン文書（5C/TEMP/128）には、勧告ITU-R SA.1154改訂案を添付し、提出することが決定された。

オーストラリアより提出されたITU-R決議59に関連したENGデータベースのフォーマットに関する文書（5C/224）については、カナダ、ITU-Rカウンセラー、米国より、入力すべき情報の用語や表示方法について意見が出され、米国より、同点について事務局から意見を求めるよう要請があった。また、米国より、各主管庁からどのように情報を求めるか（事務局がサーキュラーレターを送付するかウェブベースで各主管庁が直接入力する形をとるのかなど）についても考慮する必要があるとのコメントが出された。最終的に、同データベースに入力すべき具体的な事項についてBRの意見を求める内容などが新たに追記され、同改訂文書（5C/TEMP/129）を議長報告書に添付し、次回WP5C会合にキャリアフォワードされることになった。

また、ENGデータベースのフォーマットに関するテキストについての議論を基に、改訂に関する進行状況について新たな記載を加えたITU-R決議59に関するWP5Cの作業計画案も改訂され、議長報告書に添付されることになった（5C/TEMP/131）。

3.3 WG 5C-3

(1) 議長： R. Bunch（オーストラリア）

(2) 主要メンバ： C C.Glass（米国）、M.Christensen（カナダ）、N.Ali（英国）、R.Macchi（イタリア）、S.Starchenko（ロシア）、白井、橋本、荒木、枚田、植田、ジュター、大槻等約30名

(3) 入力文書： 5C/134（フランス）、5C/171 Annexes 6, 7（WP5C議長）、172（WP5A）、173（WPs 5A and 5B）、181（WP1A）、182（WP1B）、194（ITU-T JCA-AHF）、195（ITU-T JCA-AHF）、206（JCG 5A/5C）、212（TELEKOMUNICACJA POLSKA S.A.）、218（カナダ）、220（カナダ）、227（ロシア）

(4) 出力文書： 5C/TEMP/134, 135, 136, 137, 138, 141

(5) 審議概要

WG 5C-3は、18GHz以上の課題について審議を行うWGである。WG5C-3会合は、今会合中に3回開催され、11件の入力文書及び2件の議長報告 Annex の審議を行い、6件の出力文書を作成した。また以下の議題についてはDrafting Group (DG)が設置された

DG5C3 Deployment Assumptions and Antenna Elevations: 暫定新勧告案

F.[FS DEPLOY]に向けた作業文書関連、議長： M. Christensen (カナダ)

主な審議結果は以下のとおりである。

- ・ レポート ITU-R F.[FS/RADAR COEXISTENCE IN 71-86GHz]: 76-77GHzおよび77-81GHz帯で運用される自動車衝突防止レーダが71-76GHzおよび81-86GHz帯で運用される固定業務に与える影響に関する暫定新レポート案に向けた作業文書について、前回の議長報告 (5C/171 Annex 6)、WP5AおよびWP5Bからのリエゾン文書(5C/173)およびカナダからの寄与文書 (5C/220)に基づき議論が実施された。カナダからの入力文書(5C/220)を基に作業文書の改訂が実施され議長報告に添付された(5C/TEMP/134)。加えて、WP5AおよびWP5Bに対して本検討で用いられているパラメータについてのコメントを求めるリエゾン文書(5C/TEMP/137)を送付することが承認された。
- ・ WRC-15議題 9.1 Issue 9.1.6: 決議957 (WRC-12)に基づく固定業務、固定局、移動局の定義見直しにむけた研究についてWP1Bからのリエゾン文書(5C/181)に基づき議論が実施された。議論の結果、WP5Cでは現在の固定業務局の定義について問題があるとは認識しておらず、固定局の定義の変更を行う必要はないことを伝えるリエゾン文書(5C/TEMP/136)を送付することが承認された。
- ・ ハンドブック ITU-R F.[CROSS-BORDER] : 29.8MHz-43.5GHzでの固定/陸上移動業務の利用における近隣国との共用に関するガイドラインに関する新ハンドブックに向けた作業文書について、前回の議長報告(5C/171 Annex 7)、JCGからの寄与文書(5C/206)およびロシアからの寄与文書(5C/227)に基づき、WG5C3およびWP5AとのJoint Ad-hoc meetingにおいて議論が実施された。議論の結果、ロシア提案に基づき本ハンドブックの範囲を固定業務に限定し、今後はWP5Cにおいて作業を実施すること、および2014年5月 WP5C会合において完成を目指すことが合意された (5C/TEMP/138) 。また作業文書については、陸上移動業務関連テキスト削除はJCG及び次回会合での作業に委ねることとし、今回のロシア提案に基づく改訂のみ実施して、議長報告に添付された(5C/TEMP/141)。
- ・ SDR/CRS関連： SDR/CRSに関する、WP1Bからのリエゾン文書(5C/182)については特段のアクションをせずノートされた。
- ・ 勧告 ITU-R M.1076関連： 聴覚障害者のためのワイヤレスシステムに関する勧告ITU-R M.1076 に関するWP5Aからのリエゾン文書(5C/172)およびITU-T JCA-AHFからのリエゾン文書 (5C/194, 195)については特段のアクションをせずノートされた。

3.3.1 暫定新勧告案 F.[FS DEPLOY]に向けた作業文書に関する審議

入力文書： 5C/134 (フランス)、5C/212 (TELEKOMUNICACJA POLSKA S.A.)、5C/218 (カナダ)

出力文書： 5C/TEMP/135

審議内容：

WP5C 2013年5月会合 議長報告 (5C/171)において要請されたアンテナ仰角分布に関する寄与文書入力に応じる形で入力されたポーランドにおけるアンテナ仰角分布に関する寄与文書(5C/212)および、カナダにおけるアンテナ分布を含めた配置シナリオに関する暫定新勧告案に向けた作業文書に関する寄与文書(5C/220)に基づき、WG5C3および会期中1回開催されたDG(議長： M. Christensen (カナダ)で議論が行われ、1件の出力文書(5C/TEMP/135)が作成された。

カナダより提案された配置シナリオに関する暫定新勧告案F.[FS DEPLOY]に向けた作業文書に関して、英国より推奨パラメータを示すわけではないので、まず勧告ではなくレポートとするべきではないかという意見が、また日本より各主管庁からのデータを集約したのであれば勧告ではなくレポートとするべきではないかとの意見が出されたが、議長および米国より干渉評価に用いることを目的としたアンテナ配置に関する勧告の作成を目指したいとの意見が出された。議論の結果、各主管庁から提供されるアンテナ配置に関する情報から共通項をまとめて干渉評価に用いる勧告化を目指し、それが達成できなかった場合にはレポート化を検討することで合意された。またカナダ(5C/218)・TP(5C/212)および前回のWP5C会合に入力されたフランス(5C/134)からの寄与文書よりベースとなる作業文書が作成され議長報告に添付された(5C/TEMP/135)。

加えて、各主管庁に入力を要請するアンテナ配置に関するパラメータについての議論が行われた。イタリアより提案された3つのパラメータ(回線長・アンテナ仰角・アンテナ高)にすべきであるとの意見について議論が実施され、回線長・アンテナ仰角については特段の議論なく合意された。アンテナ高については地表面からの高さ/海面からの高さ、いずれにすべきかが、その設置場所により変わってしまう観点から議論されたが、地表面からの高さとする事で合意した。

3.4 WG5C-4

- (1) 議長：橋本(日本)
- (2) 主要メンバ：C.Glass (米国)、M.Christensen (カナダ)、N.Ali (英国)、R.Bunch (豪州)、M.Kraemer (ドイツ)、R.Macchi (イタリア)、S.Starchenko (ロシア)、白井、荒木、枚田、大槻、植田、Joutardなど約30名
- (3) 入力文書： 5C/171 Ann 8、5C/171 Ann 9、5C/171 Ann 10、5C/171 Ann 11、5C/171 Ann 12、5C/171 Ann 13、5C/183(WP 3M, 3J, 3K)、5C/185(WP 5D)、

5C/186(WP 5D)、5C/191(WP 7B)、5C/193(ITU-T JCA-AHF)、5C/197(WP 4C)、5C/203(WP 5D)、5C/204(WP 4A)、5C/207(WP 5D)、5C/210(米国)、5C/211(米国)、5C/213(Telekomunikacja Polska S.A.)、5C/215(FS Trends CG議長)、5C/219(カナダ)、5C/221(カナダ)、5C/222(カナダ)、5C/225(日本)、5C/226(日本)、5C/228(Telefon AB – LM Ericsson)

(4) 出力文書： 5C/TEMP/112、113、114、115、117、118、119R1、120、121、122、139、140、142、143、144

(5) 審議概要

WG5C-4は、WRC-15の議題に直接関連しない既存勧告やレポートの見直しとそれに伴う改訂案を審議するグループである。本グループは、傘下に以下に示す2つのDrafting Group (DG)を設置した。

- ・ DG 5C4 F.1336： 勧告ITU-R F.1336の改訂 議長:荒木氏(日本) (審議事項：3.4.1)
- ・ DG 5C4 FS trends： レポートITU-R F.[FS USE-TRENDS] 議長:大槻氏(日本) (審議事項：3.4.2)

今回合会中4回開催され、19件の入力寄与文書（2件の日本提案を含む）及び5件の議長報告Annex、さらに3件の遅延文書の内容も適宜審議して15件の出力文書を作成した。

主な審議結果は前述 2.主要結果並びに以下3.4.1-3.4.12のとおり。

3.4.1 勧告ITU-R F.1336-3の改訂案

入力文書： 5C/185(WP 5D)、5C/203(WP 5D)、5C/226(日本)、5C/228(Telefon AB – LM Ericsson)

出力文書： 5C/TEMP/139、140

審議内容：

前合会で日本から現行規定式とは異なる発想を基に水平面と垂直面上で独立した新规定式の採用を提案した。今合会では、本規定式に基づいてIMT基地局用セクタアンテナ (improved typeとして分類) に適用する新パラメータ値を選定し、更に本規定式の適用範囲を400 MHz-6000 MHzとするWP5Dからのリエゾン (5C/185)、本規定式の一部修正を提案するWP5Dの新リエゾン文書 (5C/203)、IMT用新パラメータの追加説明テキストを含むエリクソン提案 (5C/、228)、更にこれらを取込んだ上で、勧告主文、Annex全体の見直しを提案する日本提案 (5C/226) に基づいて活発な議論が行われた。本改訂作業遂行のためDG 5C4 F.1336 (DG議長：荒木、日本) が設置された。

本件は、WP5A-5C合同Ad hoc合会においても議題に挙げられ、両WPの協力体制を維持しながら改訂作業は引き続きWP 5C主導で行うことが了承された。

DG 5C4 F.1336では、WP 5Aの陸上移動業務専門家も含めて議論を行い、そのなか

ではまずセクタアンテナパターン新规定式の適用下限周波数について議論が行われた。今回700 MHzまでの実測値データしか扱っていない状況で、日本及びWP5Dから提案された下限値400 MHzについて、米国から、理論計算に基づく検討により400 MHzまで拡張可能であり、また周波数下限値を下げることに對して問題となる大きな物理的な理由はないとの意見があり、この旨の追加テキストを作成してAnnex 10（今回のAnnex再編により新Annex 7）に追加された。これらの結果を踏まえて、以下の内容が合意された。

- ・本勧告のオムニ及びセクタアンテナの適応可能周波数下限値を1 GHzから400 MHzにする。
- ・勧告主文における6 GHzまでのセクタアンテナ参照パターンとして、現在の作業文書Annex 10にある新规定式を採用する。
- ・6 GHz以上のセクタアンテナ参照パターンについては、現行規定式を一部修正したAnnex 8にあるAlternative規定式を勧告主文に移行する。
- ・本勧告改訂案は作業文書の状態であるが、関連WPの支持が得られていること多くのWRC議題検討において「最新技術を反映した移動・固定業務用アンテナ参照パターンの確立」が早期に望まれていること、から今回の審議において勧告改訂案に格上げし、本勧告改訂作業を終了する。

これらに基づいて、DGで日本提案を元に勧告改訂案の作成が行われ、Annexの見直しを含めてほぼ日本提案通りにまとめられた。また、エリクソンが提案（5C/228）した、improved typeのパラメータ値はIMT基地局用アンテナにも適用されるとの文言が、関連個所に付加され、タイトルでは、移動業務用基地局セクタアンテナにも適用できるように所掌範囲の拡張が明確化されている。

さらに、本勧告改訂案(5C/TEMP/140)は、WP5C PlenaryでScopeにおいて他のアンテナ（other antenna）との周波数範囲の差異を明確にするように若干の修正が加えられて、SG 5に送付することが合意された。

またWP 5Dに対しては、WP 5Dからの有用な返答リエゾンに感謝するとともに本勧告改訂作業が終了したことを伝える、WP5Aとの合同リエゾン文書(5C/TEMP/139)を作成して送付することが合意された。

3.4.2 暫定新レポート案ITU-R F. [FS USE-TRENDS]

入力文書： 5C/171 Ann. 13(WP 5C議長)、5C/183(WP 3M, 3J, 3K)、5C/210(米国)、5C/213(Telekomunikacja Polska S.A.)、5C/215(FS Trends CG議長)、5C/221(カナダ)、遅延文書2件（英国、ETSI）

出力文書： 5C/TEMP/142、144

審議内容：

- ・研究課題 ITU-R 253/5 “Fixed service use and future trends”に基づいた暫定

新レポート案 F. [FS USE-TRENDS]について審議を行うため、DG 5C4 - FS-Trends が設立され、議長として大槻氏(日本)が指名された。

- ・前回(2013年5月)会合から作業を継続していたCGより、暫定新レポート案 Report ITU-R F.[FS.IMT/BB] 作業文書の引用、WP3J, 3K, 3M からのリエゾンバック文書の情報、ミリ波帯アンテナの新技术、等の文書の追加・文書全体の見直しが提案された(5C/215)。又、未記載の章である第3.3.3章 “Other regions”および第5章 Spectrum requirementsについて、入力寄与がないことを理由にこれらの章を削除して、本文書のステータスを暫定新レポート案から新レポート案にアップグレードすることがCGより提案された。
- ・カナダより、カナダでのFWSの周波数毎の利用状況、チャンネルボンディング技術に関する記述を追記したうえで、暫定新レポート案へのアップグレードを提案した寄書が入力された(5C/221)。
- ・米国より、米国でのFWSの周波数毎の利用状況、High-Speed Trading/Low Latency Microwave、Deployment scenarios 等に関する記述を追記したうえで、暫定新レポート案の扱いについての議論を提案した寄書が入力された(5C/210)。
- ・Telecomunikacja Polska は、ポーランド国内でのFWSの周波数毎の利用状況を記載した情報文書を入力した(5C/213)。又、ETSI より現在 ETSI の WG TM4 で作成中の FWS に関するレポート (EN 302 217 series 等)の内容を反映したいという提案が出され、議論の結果反映が認められた(公式入力文書は提出期限に間に合わなかったため口頭で提案された)。
- ・Section 4.2 「Wider bandwidth channels , channel bonding and channel aggregation」については、英国 から channel bonding と channel aggregation の定義が明確でないとの発言が寄せられた。イタリアから channel bonding は一般的に channel aggregation に包括されるとの意見が出され、この意見が採用された。この結果、タイトルも含め、channel bonding の文字が削除された。
- ・Section 5.1 「Deployment scenarios」については、現在 WG5C3 で審議している新勧告作業文書 Deployment Scenario が審議されており、特に5.1.1の Antenna elevation に関する Section は、上記の新勧告作業文書の内容と重なるため、削除したいとの提案がカナダからなされた。この結果、本章は新勧告作業文書 Deployment Scenarioに大幅に内容に移し、本レポートでは、短いサマ리를記載するにとどめることとなった。またカナダからタイトルを Evolving deployment scenarios に変更することが提案され、了承された。
- ・Section 5.2 「Spectrum requirements」 に関しては、各国からの入力がなか

ったため、本章の削除を DG chair が提案したが、英国が、本章はレポートの中身を充実させるために非常に重要だから、審議を継続して次回の WP5C 会合での入力を待つべきと発言した。また米国からも本章は重要だから審議を継続すべきだとの意見が出された。この結果、今回の会合での削除は見送られ、次回以降の会合での入力を待つこととなった。

- ・ APPENDIX 2 について、米国より、特定の周波数帯(70/80GHz) の FS の仕様のみを記載している、APPENDIX 2 を削除し、この内容は他のITU-R text (例えば勧告 F.758) に入力すべきとの意見が出された。APPENDIX 2 の削除については了承された。
- ・ 以上の議論を経て今会合での Draft へのアップグレードは見送り、暫定新レポート案として議長報告に添付することを合意した (5C/TEMP/142)。
- ・ この他DGで審議された事項として、本暫定新レポート案に関して、特にFWA 関連記述について、WP5A へコメントを求めるリエゾン文書 (5C/TEMP/144) の送付、及び、本レポートへの入力を促進するためCGの延長が承認された。

3.4.3 勧告改訂案ITU-R F.1105-2

入力文書： 5C/171 Ann. 9(WP 5C議長)、5C/225(日本)

出力文書： 5C/TEMP/117、118

審議内容：

前回会合で議長報告に添付された、災害時における救援システムとして使用される固定無線システムの、周波数帯、チャンネル容量、伝搬距離、伝搬路条件などについて述べている暫定勧告改訂案ITU-R F.1105-2に関しては、可搬型移動用基地局を扱っていることから、WP5A-5C合同Ad hoc会合でも審議され、WG5A-3と協調しながらWG5C-4で出力文書を作成することになった。日本提案 (5C/225) は、主に以下のように変更して、勧告改訂案に格上げし、SG 5会合に上程することを提案した。

- ・ 改訂箇所についてのサマリの追加
- ・ HF帯システムについてのレポートITU-R F.2061とITU-R F.2087のレビューを要請するEditor' s noteの削除 (該当情報が存在しないため)
- ・ SHF帯システムからアナログシステムの情報の削除
- ・ Table 4記載の800 MHz帯(830-845/875-890 MHz)は決議646 (WRC-12改) のPPDR用途ではなく、公衆通信用陸上移動業務の周波数帯を使用していることのノートの追加

上記提案は他に入力がなかったため、提案通り修正のうえ勧告改訂案 (5C/TEMP/117) として格上げし、SG 5会合に上程することが合意された。また、

Plenaryの審議において、勧告案に記載の周波数帯を、周波数帯の「使用例(example)」と記載することが付加され、SG 5会合へ送付された。

さらに、本勧告案に関連する研究課題を持つ、ITU-D Study Group 2に、改訂作業の完了とSG 5会合への上程について通知するリエゾン文書(5C/TEMP/118)を作成した。

3.4.4 勧告改訂案ITU-R F.1497-2

入力文書： 5C/171 Ann. 10(WP 5C議長)

出力文書： 5C/TEMP/114

審議内容：

前回会合の議長報告に添付された、55.78-66 GHz帯で運用する固定業務システムの無線チャネル配置についての暫定勧告改訂案ITU-R F.1497-2について、今回会合では入力があったため、議長報告(5C/171)のAnn.10に基づき議論され、前回行った「slot」の「channel」への置き換えやconsidering g)における「frequency band」の「frequency range」への置き換えについての説明のうえ、改訂箇所についてのサマリを追加して勧告改訂案(5C/TEMP/114)として格上げし、SG 5会合に上程することが合意された。

3.4.5 暫定新レポート案ITU-R F.[FS.IMT/BB]の作業文書

入力文書： 5C/171 Ann. 8(WP 5C議長)、5C/186(WP 5D)、5C/193(ITU-T JCA-AHF)、5C/207(WP 5D)、5C/211(米国)、5C/219(カナダ)

出力文書： 5C/TEMP/120、122

審議内容：

本暫定新レポートは、WP5Aとも関連することから、WP5A-5C合同Ad hoc会合でも議題に挙がり、WP5C-4で議論を進め、その状況をWP5Aにリエゾンすることになった。前回会合の議長報告(5C/171 Ann. 8)に添付されたIMTと他の地上[モバイル]ブロードバンドシステムのための固定業務バックホールネットワークについての暫定新レポート案ITU-R F.[FS.IMT/BB]の作業文書の6.1(固定業務用周波数帯の特性)について、ネットワーク容量を増加させる方法に関して述べている米国の入力文書と、バックホールネットワークの技術特性が周波数帯によって異なることを述べているカナダの入力文書の双方の記述を併記した。さらに、カナダ提案により、6.1の内容は6.3(伝送ネットワークに使用できる可能性のある周波数帯の情報)を置き換えるものであるため、6.3は削除された。以上の内容を含んだ作業文書(5C/TEMP/120)が議長報告に添付された。

WP 5DとITU-T JCA-AHFからのリエゾン文書に関しては、本作業文書の状況を伝えるとともに、特にWP 5Dに対してはWP 5Dが作成中のITU-R

M.[IMT.HANDBOOK]については本レポートが関連するため、完成後に参照するように依頼した返答リエゾン文書（5C/TEMP/122）を作成して送付された。また本作業文書の所掌範囲に（IMT以外の）モバイルブロードバンドシステムのバックホールネットワークも含むためリエゾン宛先にWP5Aも含まれた。

3.4.6 新レポート案ITU-R F.[ANALOG]

入力文書： 5C/171 Ann. 11(WP 5C議長)

出力文書： 5C/TEMP/113

審議内容：

前回会合の議長報告(5C/171 Ann. 11)に添付された、固定業務のアナログシステムに関するITU-R勧告のリストについての暫定新レポート案ITU-R F.[ANALOG]に関しては、新たな寄書はなく、屋外テレビ放送(Television Outside Broadcast: TVOB)、ENG、スタジオ以外でカメラとVTRを使用する番組制作(Electronic Field Production: EFP)におけるアナログシステムについて記載した、勧告ITU-R F.1777を新たに含める修正をして、新レポート案(5C/TEMP/113)として、SG 5会合に上程することを合意した。

3.4.7 勧告ITU-R SF.356-4の削除

入力文書： 5C/204(WP 4A)

出力文書： 5C/TEMP/112、115

審議内容：

前回会合においてWP 5Cは勧告SF.357-4（周波数共用を行っている固定衛星業務システムからアナログ無線中継システムへの最大許容干渉量）の削除提案をSG 5会合に行った旨をWP 4Aに通知した。それを受け、WP 4Aでは、本勧告の双対勧告SF.356-4（周波数共用を行っているアナログ無線中継システムから固定衛星業務システムへの最大許容干渉量）の削除提案を本年10月のSG 4会合に行った旨をWP 5Cに通知し、本勧告についてもSG 4と同様に、次回SG 5会合において、削除提案を行うよう要請してきた（5C/204）。

本リエゾン文書を受け、WP 5Cでは勧告SF.356-4についての削除提案（5C/TEMP/115）をSG 5会合にて行うことを合意した。さらに、本勧告の削除提案をしたことをWP 4Aに伝えるリエゾン文書(5C/TEMP/112)を作成して送付された。

3.4.8 勧告ITU-R F.750とITU-R F.751の削除提案

入力文書： 5C/222(カナダ)

出力文書： なし

審議内容：

カナダからの入力(5C/222)により、勧告ITU-R F.750-4 (SDHネットワークにおける無線中継システムのアーキテクチャと機能)と勧告ITU-R F.751-2 (SDHネットワークにおける無線中継システムの伝送特性と特性要求)の削除提案があった。その主な理由は以下のとおりである：

- 今日のマイクロ回線は、ITU-T, MEF, IETF等で既に議論された伝送機能や特徴を取込むように設計されている
- 最近のITU-R研究は、周波数配置に関する勧告の検討を含めて固定業務に割当てられた周波数の効率的な用途に重点が置かれている。

しかし、この件に関しては、マイクロ回線を含めた基幹伝送ネットワークにおいてSDHシステムはまだ重要な役目を担っており、またこれらの勧告におけるマイクロ方式の構成や機能は、対応するITU-T勧告に関連したSDHネットワークの運用に関する参照として価値があるとの指摘があった。さらに欧州電気通信標準化機構(ETSI)の標準にも同様のものがあるとの意見があり、WG 5C4議長より、上記勧告の削除は特に急ぐものではないとの意見もあり、これらの勧告の削除は今回合会においては行わないこととなった。

3.4.9 WP 4Cへのリエゾン文書

入力文書： 5C/197(WP 4C)

出力文書： 5C/TEMP/121

審議内容：

前回合会でWP 5Cは、2 483.5-2 500 MHz帯における無線測位衛星業務と移動衛星業務の、固定業務との共用検討について記載された暫定新レポート案ITU-R M.[RDSS-MSS-SHARE]について、WP 4Cにリエゾン文書にてコメント・質問を行い、WP 4Cからは返答リエゾン文書(5C/197)を受領した。

上記返答リエゾン文書に対して、WP 5Cからのコメントの一部を考慮して暫定新レポート案ITU-R M.[RDSS-MSS-SHARE]が修正されていることに感謝するとともに、現在WP 5Cでは、くつかの主管庁からの固定局の配置シナリオやアンテナ仰角についての実際のデータを扱っている新勧告案(ITU-F F.[FS DEPLOY])の作成に向けた作業を進めており、2 483.5-2 500 MHz帯に近い周波数帯のデータはこの共用検討に役立つかもしれないとのリエゾン文書(5C/TEMP/121)を作成してWP 4Cに送付された。

3.4.10 WP 7Bへのリエゾン文書

入力文書： 5C/191(WP 7B)

出力文書： 5C/TEMP/143

審議内容：

WP 7Bは、勧告ITU-R SA.1275-3とITU-R SA.1276-3に各々2 200-2 290 MHz帯と25.25-25.7 GHz帯で運用する、データ中継衛星の軌道位置(167°E、192.5°E、195.8°E)を追加したため、これらの勧告で参照されているITU-R F. 1247-3、ITU-R F.1249-3、ITU-R F.1509-2にも同様の修正を加えるよう、WP 5Cに要請するリエゾン文書(5C/191)を送付して来た。

これに対して、これまでの経緯(保護すべき軌道位置追加はFSの導入制約になること)を鑑みてWP 7Bの要求を直ちに対応することは難しいとの意見があり、この件をいかに対応するかについて議論が行われた。その結果、WP 7Bに対して現状の問題をまとめるとともに、この件に関してさらなる意見交換を求めてリエゾン文書(5C/TEMP/143)が作成された。その中で、今後の最良の方法についてWP 7Bとの議論を進めるため、下記の選択肢を今会合のWP5C議長報告に示すこととした。

- ・全ての既存のそして計画される可能性のある軌道位置を、(WP7B側で)10年周期で決定してその間は関連勧告の見直し作業をしない。
- ・保護要求のある追加軌道位置について提案されたリストと、一般的な固定局送信方向の軌道位置回避策(通常特定位置から $\pm 2^\circ$)に基づく、軌道弧の 113.85° すなわち全体の約32%が保護対象とされており、将来さらに増える可能性がある。この状況を考慮して、最も効率的な解決法は、この周波数帯の新しいFS局は単にGSOの軌道位置全方向に対して正対させないことを議論すべきかもしれない。GSO軌道方向を避ける制限については、他の多くの周波数帯の固定業務と衛星業務間の共用で既にRR(Article 21)により、ある値を超すe.i.r.pを有するFS局には課されている。この状況においては、将来のFS方式の配備や既存FS方式の継続的な運用の柔軟性に対する影響を、検討する必要がある。
- ・一般的な方法としては、代表的なFS配備についてのアンテナ水平・垂直角度とGSO軌道弧で問題を生じるFS局に対する制限を決めることを検討することかもしれない。この方法は、WP 5CとWP 7B/C間で合意された方法論が必要となろう。

上記項目については、次回会合にて寄与文書を募ることとなった。

3.4.11 パケットベースネットワークの固定Point-to-Pointシステムについての新規研究課題の設立

入力文書： なし(関連文書は前回入力5C/153)

出力文書： なし

審議内容：

前回会合において、Huawei TechとChina Mobileからの入力文書(5C/153)により提案された、パケットベースネットワークで使用されるPoint-to-Point固定無線システム

ムについての新規研究課題の設立について、今回会合では中国から、寄与文書提出期限に間に合わなかったため遅延文書として入力され、情報文書として本提案内容を会合にて議論することとなった。

議論の中で、本研究課題案は、ネットワークレイヤと非物理レイヤに関する問題を扱うITU-Tで対応すべき内容も含まれるとの見解も表明されたが、これに対してITU-Rではパケット伝送において重要である物理レイヤに関する研究に重点を置けるだろうとの意見があった。特に、適応変調を採用しているシステムについては、パケット技術では利用可能な伝送帯域内で物理パラメータを効率的に変更することが可能であり、ITU-Rではクライアントレイヤ（高次レイヤ）の問題を扱わないことによってこの重複を避けることができるかもしれないという意見があった。また、パケット伝送に関する類似した案件に関して、特に無線伝送路の遅延特性などの物理レイヤパラメータについて衛星グループで扱っているとの意見もあった。さらにブロードバンドワイヤレスアクセスシステムに係る既存のITU-RレポートF.2086なども考慮した上で審議する必要があるとされ、本研究課題案の必要性については次回会合でさらに検討されることとなった。

3.4.12 勧告ITU-R F.746-10のエディトリアル修正

入力文書： 5C/171 Ann. 10(WP 5C議長)

出力文書： 5C/TEMP/119R1

審議内容：

今会合で周波数配置に関する勧告ITU-R F.1497-2の勧告改訂案がSG 5に送られたため、固定業務システムの周波数配置全般の情報について記載されている勧告ITU-R F.746-10のTable 2（周波数帯とチャンネル間隔）をアップデートするもの(5C/TEMP/119)で、本修正は勧告F.1497-2改訂案の承認後に有効となる条件で合意された。

4 今後の予定

次回WP5C関連WG会合で審議予定の主な課題は以下である。

【WG5C-1】

- ・暫定勧告案ITU-R F.1778の改訂作業
- ・HF Handbookとadaptive HF tutorial Handbookに関する改訂作業

【WG5C-2】

- ・勧告ITU-R F.1777の改訂案に関する作業文書の改訂作業
- ・ITU-R決議59に関連したENGデータベースのフォーマットに関する作業
- ・WRC-15議題関連グループとしての対応作業(30MHz~18GHz)

【WG5C-3】

- ・新Handbook案ITU-R F.[CROSS-BORDER] に向けた作業文書の改訂作業
- ・暫定新レポート案ITU-R F.[FS/RADAR COEXISTENCE IN 71-86GHZ]に向けた作業文書の改訂作業
- ・暫定新勧告案への作業文書ITU-R F.[FS DEPLOY] に向けた作業文書の改訂作業
- ・WRC-15議題関連グループとしての対応作業(18GHz以上)

【WG5C-4】

- ・新レポート[FS USE-TRENDS]の改訂作業
- ・新レポート[FS IMT BB]に向けた作業文書の改訂作業
- ・新研究課題「パケットベースネットワークで利用されるP-P固定無線システム」の提案に関する検討

5 次回会合のスケジュールについて

第13回WP5C会合は、2014年5月19日～30日の間にチュニジアでの開催が予定されているが、イランなど一部の主管庁がジュネーブ以外で会合を行うことに反対していることから、BRによる調整が引き続き行われ、2014年2月半ばに、サーキュラーレターで最終的な日程及び開催国・場所について連絡される見込みである。

第14回WP5C会合についても、ジュネーブで、2014年10月27日～11月7日、又は2014年11月10日～11月21日のいずれかの日程で調整中である。

※なお、2013年12月10日付でSG5議長及びWP5A, B, C議長宛てに事務局から送られたメールによると、その後の審議において、2014年前半のWP5A,B,C会合は、5月19～30日にかけて、同年後半のWP5A,B,C会合は10月27～11月7日の期間において、いずれもジュネーブで開催する方向で調整されているとのことである。

日本入力文書の審議結果

担当WG	文書番号	概要	審議結果	出力文書
WG5C-4	5C/215 (注)	CGにおける議論結果を報告した入力文書であり、WP5Cに入力されたWPs 3J, 3K, 3Mからのリエゾン文書および、CGに入力された寄与文書やコメントに基づき、文書のアップデートを提案するとともに、11月会合において、そのステータスを新レポート案としてSG5に上程する提案を行った。	米国・カナダ・TP・ETSI等からの入力・コメントに基づき、主として各国のリンク数の変化、FWSに用いられる技術の追加、配置シナリオに関する記載が追加された。また、ステータスについては、第5.2章“Spectrum requirements”の入力を待つべきである、との意見が大勢を占め、今会合では暫定新レポート案にとどめ、来年のWP5C会合での作業完了を目指すこととなった。また、本レポートにはFWAIに関する章があることから、WP5Aに対してコメントを求めるリエゾンを送付することが承認された。	5C/TEMP/ 142、144
WG5C-4	5C/225	暫定改訂勧告案ITU-R F.1105-2に、改訂のサマリ、エディタズノートの記載事項の反映、他エディトリアル修正を含む微修正を加えることで、改訂勧告案としてSG 5会合に提出することを提案。	WP 5AとWP 5Cの合同審議の結果、勧告案に記載の周波数帯の使用を、周波数帯の使用例として記載することで、合意され、SG 5会合への上程も承認された。 さらに、本勧告案に関連する研究課題を持つ、ITU-D Study Group 2にもSG 5会合への上程について通知するリエゾン文書を作成した。	5C/TEMP/ 117、118
WG 5C-4	5C/226	勧告ITU-R F.1336-3の改訂作業において、これまで未検討であったオムニアンテナ参照パターン規定式の1GHZ以下への拡張を実測データに基づき確認し、これをもって本勧告の適応可能周波数の下限を1GHZから400MHZにするとともに、勧告本文におけるセクタアンテナ規定式を、他のWPでも認められたANNEX 10及び8の	日本提案の見直し案は、ほぼ提案通り合意された。以上をもって、勧告改訂案としてSG5に提出することが合意された。WP5DIに対して、本勧告改訂作業の完了を伝えるリエゾン文書をWP5Aと合同で作成して送付された。	5C/TEMP/ 139、140

		規定式から移行する。このことを踏まえて、改訂案全体の見直し案を提案し、合意されたのちに、勧告改訂案として次回のSG5に提出する。		
--	--	--	--	--

(注) Doc.5C/151は日本の寄与に基づく Correspondence Group 議長としての入力

入力文書一覧

文書番号	提出元	題名	担当 WG	出力文書
5C/168	WP5B	Liaison statement - WRC-15 Agenda item 1.16	WG5C-2	5C/TEMP/ 132
5C/171	Chairman, WP5C	Report on the eleventh meeting of Working Party 5C (Geneva, 20-29 May 2013)	全 WG	—
5C/172	WP5A	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1076 - Wireless communication systems for persons with impaired hearing	WG5C-3	—
5C/173	WPs 5A and 5B	Reply liaison statement to Working Party 5C - Fixed service information for the 71 - 76 GHz and 81 - 86 GHz bands	WG5C-3	—
5C/174	WP5A	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy for information to Working Parties 4A, 4B, 4C, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D, 1A, 3K, 3M) - Reply liaison statement on spectrum requirements for terrestrial mobile broadband (excluding IMT) related to WRC-15 agenda item 1.1	WG5C-2	—
5C/175	WP5A	Liaison statement to Working Parties 5B and 5C (copy for information to Working Party 3L) - WRC-15 Agenda item 1.4 - Status of studies and draft CPM text for WRC-15 Agenda item 1.4 □	WG5C-1	—
5C/176	WP5B	Reply liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to Working Parties 5A, 5C and 5D for information) - Preparations for WRC-15 Agenda item 1.1 - Additional technical and operational characteristics □	WG5C-2	—
5C/177	WP1A	Liaison statement to ITU-T Study Group 9 (copy to ITU-R Working Parties 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D and ITU-T Study Group 5) - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunication systems - considerations with respect to work on Recommendation ITU-T J.195 (J.HiNoC-req) □	WG5C-1	—
5C/178	WP1A	Liaison statement to Working Parties 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunication systems - Streamlining future cooperation within ITU-R and liaison with ITU-T □ □	WG5C-2	5C/TEMP/ 361 5C/TEMP/ 352
5C/179	WP1A	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 for information and action (copy to ITU-R	Plenary	—

		Working Parties 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D) - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunication systems - Considerations with respect to work on Recommendation ITU-T G.fast		
5C/180	WP1A	Liaison statement to ITU-T Study Group 5 (copy to ITU-R Working Parties 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D) - Activities of ITU-T Study Group 5 related to interference between radio signal and device or cable connected to wired broadband networks and cable television networks □ □	WG5C-1	—
5C/181	WP1B	Liaison statement to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5C, 5D, 7B, 7C and 7D - WRC-15 agenda item 9.1, Issue 9.1.6 - Resolution 957 (WRC-12) - Studies towards review of the definitions of fixed service, fixed station and mobile station	WG5C-3	5C/TEMP/136
5C/182	WP1B	Liaison statement to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WHITE-SPACE] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for the use of white spaces by radio systems employing cognitive capabilities	WG5C-3	—
5C/183	WPs 3M, 3J and 3K	Liaison statement to Working Party 5C - Propagation models for planning and interference assessment involving fixed service links in bands above 50 GHz	WG5C-4	5C/TEMP/142
5C/184	WP5D	Liaison statement to ITU-T Study Group 13 Question 16/13 (copy to ITU-R Study Group 1 and for information to Working Parties 5A, 5B and 5C)	Plenary	—
5C/185	WP5D	Liaison statement to Working Parties 5A and 5C - Improved sectoral antenna pattern approximations in Recommendation ITU-R F.1336	WG5C-4	5C/TEMP/139 =5A/TEMP/183, 5C/TEMP/140
5C/186	WP5D	Liaison statement to Working Party 5C and ITU-T Study Groups 13 and 15 (copy for information to Working Party 5A) on development of a draft new Report ITU-R F.[FS.IMT/BB] - Fixed service backhaul networks for IMT and other terrestrial mobile broadband systems □	WG5C-4	5C/TEMP/122
5C/187	ITU-T SG 15	Liaison statement on determination of the ITU-T G.fast PSD specification	WG5C-1	5C/TEMP/145(=5A/TEMP/186)

5C/188	ITU-T SG 15	Liaison statements on new versions of the Access Network Transport (ANT) Standardization overview and Work plan	Plenary	—
5C/189	SG1	Recommendation ITU-R SM.1541-5 - Unwanted emissions in the out-of-band domain	Plenary	—
5C/190	WP7C	Liaison statement to Working Party 5C - WRC-15 agenda item 1.12 - Sharing studies between the earth exploration-satellite service (active) and the fixed service in the frequency bands 8 700-8 750 MHz 10 000-10 500 MHz	WG5C-2	5C/TEMP/123
5C/191	WP7B	Liaison statement to Working Party 5C - Revisions of Recommendations ITU-R SA.1275-3 and ITU-R SA.1276-3	WG5C-4	5C/TEMP/143
5C/192	WP7B	Liaison statement to Working Party 5C - Sharing between the EESS (Earth-to-space) and the fixed service in the 7-8 GHz range under WRC-15 agenda item 1.11	WG5C-2	5C/TEMP/124
5C/193	ITU-T JCA-AHF	Liaison statement on development of a draft new Report ITU-R F.[FS.IMT/BB]: Fixed service backhaul networks for IMT and other terrestrial mobile broadband systems (reply to Document 5C/TEMP/84)	WG5C-4	5C/TEMP/122
5C/194	ITU-T JCA-AHF	Liaison statement on draft revision of Recommendation ITU-R M.1076	WG5C-3	—
5C/195	ITU-T JCA-AHF	Liaison statement on draft revision of Recommendation ITU-R M.1076 "Wireless communication systems for persons with impaired hearing" (reply to Document 5B/110)	WG5C-3	—
5C/196	WP4C	Liaison statement to Working Party 5B (copy to Working Parties 5A and 5C) - WRC-15 agenda item 1.16 - VDES satellite component	WG5C-2	—
5C/197	WP4C	Liaison statement to Working Party 5C - Studies to assist coordination between RDSS and MSS and the fixed service in the 2 483.5-2 500 MHz band	WG5C-4	5C/TEMP/121
5C/198	Director, BR	CISPR letter on the use of the band 8.3-9 KHz	WG5C-1	—
5C/199	WP4A	Liaison statement to Working Party 5C - WRC-15 agenda item 1.8	WG5C-2	5C/TEMP/130
5C/200	WP4A	Liaison statement to Working Party 5C - WRC-15 agenda item 1.6	WG5C-2	5C/TEMP/126
5C/201	WP4A	Liaison statement to Working Party 5C (copy to Working Parties 5A and 7B for information) - WRC-15 agenda item 1.9.1	WG5C-2	5C/TEMP/125
5C/202	SG6	Question ITU-R 136-2/6	Plenary	—
5C/203	WP5D	Liaison statement to Working Parties 5A and 5C - Sectoral antenna pattern	WG5C-4	5C/TEMP/139

		approximations in Recommendation ITU-R F.1336-3		=5A/TEMP/183, 5C/TEMP/140
5C/204	WP4A	Liaison statement to Working Party 5C - Proposed suppression of certain SF-Series Recommendations	WG5C-4	5C/TEMP/112, 115
5C/205	WP5D	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to all concerned Groups under WRC-15 agenda item 1.1 (Working Parties 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 6A, 7B, 7C, 7D, 3K, 3M, and Working Party 1A)) - Sharing parameters for WRC-15 agenda item 1.1	WG5C-2	—
5C/206	Chairman, JCG 5A/5C	Progress Report of Joint Correspondence Group Activity	WG5C-3	5C/TEMP/138, 141
5C/207	WP5D	Liaison statement to ITU-R Working Parties 4B, 5C, and ITU-T Study Group 13 Question 15/13 - Work progress on development of Handbook on global trends in IMT - ITU-R M.[IMT.HANDBOOK]	WG5C-4	5C/TEMP/122
5C/208	ITU-T SG 9	Liaison statement on coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems - Consideration with respect to work on Recommendation ITU-T J.195.1 (J.HINOC-REQ)	WG5C-1	5C/TEMP/146 =5A/TEMP/187
5C/209	Chairman, SG 5	Updating of the progress of the studies requested in the ITU-R Resolutions	Plenary	—
5C/210	United States of America	Proposed revisions to Preliminary Draft New Report ITU-R F.[FS USE-TRENDS], "Fixed service use and future trends"	WG5C-4	5C/TEMP/142
5C/211	United States of America	Proposed revisions to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R F.[FS.IMT/BB]	WG5C-4	5C/TEMP/120
5C/212	TELEKOM UNIKACJA POLSKA S.A.	Distribution of antenna elevation in the fixed service in Poland	WG5C-3	5C/TEMP/135
5C/213	TELEKOM UNIKACJA POLSKA S.A.	Fixed service in Poland over the years	WG5C-3	5C/TEMP/142
5C/214	Chairman, SG 5	Work on the Recommendation database search facility	Plenary	—
5C/215	Chairman, CG FS-trends	Report on the Correspondence Group on fixed service use and future trends	WG5C-4	5C/TEMP/142
5C/216	Canada	Support for wireless feeds for news gathering applications	WG5C-2	5C/TEMP/127
5C/217	Canada	Proposal for preliminary draft revision of Recommendation ITU R F.1778 - Channel access requirements for HF adaptive systems in the fixed service	WG5C-1	5C/TEMP/116

5C/218	Canada	Deployment scenarios for point-to-point systems in the fixed service	WG5C-3	5C/TEMP/ 135
5C/219	Canada	Proposed modifications to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R F.[FS.IMT/BB] - Fixed service backhaul networks for IMT and other terrestrial [mobile] broadband systems	WG5C-4	5C/TEMP/ 120
5C/220	Canada	Proposed modifications to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R F.[FS/RADAR COEXISTENCE IN 71-86 GHZ] - Coexistence between fixed service operating in 71-76 GHz and 81-86 GHz and automotive collision avoidance radar operating in the bands 76-77 GHz and 77-81 GHz	WG5C-3	5C/TEMP/ 134, 137
5C/221	Canada	[Draft] report on the Correspondence Group on fixed service use and future trends	WG5C-4	5C/TEMP/ 142
5C/222	Canada	Proposed suppression of Recommendations ITU-R F.750 and ITU-R F.751	WG5C-4	—
5C/223	Australia	Proposed liaison statement to Working Party 7B - Revisions to Recommendation ITU-R SA.1154 - Updating of characteristics of current digital ENG systems and their usage/deployment	WG5C-2	5C/TEMP/ 128
5C/224	Australia	Format for ENG database - Studies on availability of frequency bands and/or tuning ranges for worldwide and/or regional harmonization and conditions for their use by terrestrial electronic news gathering systems	WG5C-2	5C/TEMP/ 129
5C/225	Japan	Proposed revision of Recommendation ITU-R F.1105-2 - Fixed wireless systems for disaster mitigation and relief operations	WG5C-4	5C/TEMP/ 117
5C/226	Japan	Proposed modifications to working document towards preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.1336-3 - Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas in point-to-multipoint systems for use in sharing studies in the frequency range from 1 GHz to about 70 GHz	WG5C-4	5C/TEMP/ 140
5C/227	Russian Federation	Proposals for modification of new Handbook ITU-R F.[CROSS-BORDER]	WG5C-3	5C/TEMP/ 138, 141
5C/228	Telefon AB - LM Ericsson	Proposed modifications to the working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.1336-3	WG5C-4	5C/TEMP/ 140
5C/230	WP6A	Liaison statement to Working Party 1A and ITU-T Study Groups 9 and 5 (and for information to ITU-R Working Parties 5A, 5B, 5C & 5D) - Coexistence of wired	Plenary	—

		telecommunications with radiocommunication systems - Considerations with respect to work on Recommendation ITU T J.195.1 (J.HINOC-REQ)		
5C/231	WP6A	Liaison statement to Working Party 1A & ITU-T Study Group 15 (and for information to ITU-R Working Parties 5A, 5B & 5C) - Considerations on wired telecommunication systems being developed under G.Fast	Plenary	—
5C/233	WP5B	Liaison statement to the International Special Committee on Radio Interference (copy to WPs 5A and 5C) - Protection of radiocommunication services in the frequency band 8.3-9 kHz	Plenary	—

出力文書一覧

文書番号	担当 WG	題名	入力文書	処理
5C/TEMP/112	WG 5C-4	Liaison statement to Working Party 4A, Suppression of Recommendation ITU-R SF.356	5C/204	リエゾン先に送付
5C/TEMP/113	WG 5C-4	Draft new Report ITU-R F.[ANALOG], "List of ITU-R Recommendations on analogue systems in the fixed service in frequency bands above 30 MHz"	5C/171 (Annex 11)	SG5 へ送付
5C/TEMP/114	WG 5C-4	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1497-1, "Radio-frequency channel arrangements for fixed wireless systems operating in the band 55.78-66 GHz"	5C/171(A annex 10)	SG5 へ送付
5C/TEMP/115	WG 5C-4	Proposal for suppression of Recommendation ITU-R SF.356-4	5C/204	SG5 へ送付
5C/TEMP/116	WG 5C-1	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.1778, "Channel access requirements for HF adaptive systems in the fixed and land mobile services"	5C/217	議長報告に収録
5C/TEMP/117	WG 5C-4	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1105-2, "Fixed wireless systems for disaster mitigation and relief operations"	5C/171(A annex 9), 5C/225	SG5 へ送付
5C/TEMP/118 (=5A/TEMP/164)	WG 5C-4	Liaison statement to ITU-D Study Group 2 (Question 22-1/2), Draft revision of Recommendation ITU-R F.1105-2, "Fixed wireless systems for disaster mitigation and relief operations"	5C/171(A annex 9), 5C/225	リエゾン先に送付
5C/TEMP/119(Rev. 1)	WG 5C-4	Editorial revision of Recommendation ITU-R F.746-10, "Radio-frequency arrangements for fixed service systems"	5C/171(A annex 10)	SG5 へ送付

5C/TEMP/ 120	WG 5C-4	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R F.[FS.IMT/BB], "Fixed service backhaul networks for IMT and other terrestrial [mobile] broadband systems"	5C/171(A nnex 8), 5C/211, 219	議長報告 に収録
5C/TEMP/ 121	WG 5C-4	Liaison statement to Working Party 4C, "Studies to assist coordination between RDSS and MSS and the fixed service in the 2 483.5-2 500 MHz band	5C/197	リエゾン 先に送付
5C/TEMP/ 122	WG 5C-4	Liaison statement to Working Parties 5A, 5D and ITU-T JCA-AHF, Working document towards a draft new Report ITU-R F.[FS.IMT/BB], "Fixed service backhaul networks for IMT and other terrestrial mobile broadband systems"	5C/186, 193, 207	リエゾン 先に送付
5C/TEMP/ 123	WG 5C-2	Reply liaison statement to Working Party 7C, (WRC 15 agenda item 1.12), "Sharing studies between the Earth exploration-satellite service (active) and the fixed service in the frequency bands 8 700-8 750 MHz and 10 000-10 500 MHz	5C/190	リエゾン 先に送付
5C/TEMP/ 124	WG 5C-2	Reply liaison statement to Working Party 7B, Sharing between the EESS (Earth-to-space) and the fixed service in the 7-8 GHz range under WRC-15 agenda item 1.11	5C/192	リエゾン 先に送付
5C/TEMP/ 125	WG 5C-2	Reply liaison statement to Working Party 4A, (copy to Working Parties 5A and 7B for information), WRC-15 agenda item 1.9.1	5C/201	リエゾン 先に送付
5C/TEMP/ 126	WG 5C-2	Reply liaison statement to Working Party 4A, WRC-15 agenda item 1.6	5C/200	リエゾン 先に送付
5C/TEMP/ 127	WG 5C-2	Working document towards a draft revision of Recommendation ITU-R F.1777 "Digital system characteristics of television outside broadcast, electronic news gathering and electronic field production in the fixed service for use in sharing studies"	5C/216	議長報告 に収録
5C/TEMP/ 128	WG 5C-2	Liaison statement to Working Party 7B, Proposed revisions to Recommendation ITU-R SA.1154, "Updating of characteristics of current digital ENG systems and their usage/deployment"	5C/223	リエゾン 先に送付
5C/TEMP/ 129	WG 5C-2	Development of an ENG database Studies on availability of frequency bands and/or tuning ranges for worldwide and/or regional harmonisation and conditions for their use by terrestrial electronic news gathering systems	5C/224	議長報告 に収録
5C/TEMP/ 130	WG 5C-2	Reply liaison statement to Working Party 4A, WRC-15 agenda item 1.8	5C/199	リエゾン 先に送付

5C/TEMP/ 131	WG 5C-2	Work plan for addressing Resolution ITU-R 59 Studies on availability of frequency bands and/or tuning ranges for worldwide and/or regional harmonization and conditions for their use by terrestrial electronic news gathering systems	5C/171	議長報告 に収録
5C/TEMP/ 132	WG 5C-2	Liaison statement to Working Party 5B, WRC-15 agenda item 1.16	5C/168	リエゾン 先に送付
5C/TEMP/ 133	WG 5C-1	Working Party 5C, Liaison statement to WP 5A, "WRC-15 agenda item 1.4"	5C/120, 121	リエゾン 先に送付
5C/TEMP/ 134	WG 5C-3	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R F.[FS/RADAR COEXISTENCE IN 71-86 GHz] "Coexistence between fixed service operating in 71-76 GHz and 81-86 GHz and automotive collision avoidance radar operating in the frequency bands 76-77 GHz and 77-81 GHz	5C/220	議長報告 に収録
5C/TEMP/ 135	WG 5C-3	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[FS DEPLOY] "Deployment scenarios for point-to-point systems in the fixed service"	5C/218, 212	議長報告 に収録
5C/TEMP/ 136	WG 5C-3	Liaison statement to Working Party 1B, WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.6 – Resolution 957 (WRC-12) – Studies towards review of the definitions of fixed service, fixed station and mobile station	5C/181	リエゾン 先に送付
5C/TEMP/ 137	WG 5C-3	Liaison statement to Working Parties 5A and 5B, "Potential impact to the fixed service from automotive collision avoidance radar in adjacent frequency bands 76-77 GHz and 77-81 GHz"	5C/220	リエゾン 先に送付
5C/TEMP/ 138	WG 5C-3	Working document towards a preliminary draft new Handbook ITU-R F.[CROSS-BORDER], "Guidance for bilateral/multilateral discussions on use frequency range 29.7 MHz-43.5 GHz by fixed/land mobile systems"	5C/227, 206	議長報告 に収録
5C/TEMP/ 139	WG 5C-4	Liaison statement to Working Party 5D, (copied to Joint Task Group 4-5-6-7), Draft revision of Recommendation ITU-R F.1336-3, "Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas"	5C/185, 203	リエゾン 先に送付
5C/TEMP/ 140	WG 5C-4	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1336-3, "Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas for the fixed and mobile services for use in sharing studies in the frequency range from 400 MHz to about 70 GHz"	5C/171(A nnex 12), 5C/185, 203, 226, 228	SG5 へ送 付

5C/TEMP/ 141	WG 5C-3	Working document towards a preliminary draft new Handbook ITU-R F.[CROSS-BORDER], "Guidance for bilateral/multilateral discussions on use frequency range 29.7 MHz-43.5 GHz by fixed/land mobile systems"	5C/227, 206	議長報告 に収録
5C/TEMP/ 142	WG 5C-4	Preliminary draft new Report ITU-R F.[FS USE-TRENDS], "Fixed service use and future trends"	5C/210, 213,215, 221	議長報告 に収録
5C/TEMP/ 143	WG 5C-4	Liaison statement to Working Party 7B, Revisions of Recommendations ITU-R F.1247-3, ITU-R F.1249-3 and ITU-R F.1509-2	5C/191	リエゾン 先に送付
5C/TEMP/ 144	WG 5C-4	Liaison statement to Working Party 5A (copy for information to Working Party 5D), "Preliminary draft new Report ITU-R F.[FS USE-TRENDS], Fixed service use and future trends"	—	リエゾン 先に送付
5C/TEMP/ 145(=5A/T EMP/186)	WG 5C-1	Liaison statement to ITU-T Study Group 15, (Copied for information to ITU-R Working Parties 1A, 5B, 5D AND 6A), Determination of the ITU-T G.fast PSD specification	5C/187	リエゾン 先に送付
5C/TEMP/ 146(=5A/T EMP/187)	WG 5C-1	Liaison statement to ITU-T Study Group 9, (copied for information to ITU-R Working Parties 1A, 5B and 6A), "Coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems – considerations with respect to work on Recommendation ITU T J.195.1 (J.HiNoC-REQ)	5C/208	リエゾン 先に送付

日程表

日時		Plenary	WG5C-1	WG5C-2	WG5C-3	WG5C-4
11月18日 (月)	11:30~	○(1)				
	9:00~					
11月19日 (火)	10:45~					○(1)
	14:00~		○(1)			
	15:45~			○(1)		
	17:30~	WP5A – WP5C Ad hoc meeting				
11月20日 (水)	9:00~				○(1)	
	10:45~					○(2)
	14:00~		○(2)			
	15:45~					
	17:30~					DG5C-4 F.1336(1)
11月21日 (木)	9:00~			DG5C-2 ENG(1)		
	10:45~				DG 5C Deploy & Ant Distrib	
	14:00~					DG 5C-4 - FS-Trends(1)
	15:45~				○(2)	
11月22日 (金)	9:00~					○(3)
	10:45~					
	14:30~					
	15:45~					
	17:30~			DG5C-2 ENG(2)		
11月25日 (月)	9:00~			○(2)		
	10:45~			○(3)		
	14:00~				○(3)	
	15:45~					DG5C-4 F.1336(2) DG5C-4 FS-Trends(2)
11月26日 (火)	9:00~					○(4)
	10:45~					
	14:00~					
	15:45~					
11月27日 (水)	9:00~	○(2)				

(別紙)

ITU-R SG5 WP5C 第 12 回会合 日本代表団

氏 名	所 属
白井 清兼	総務省 総合通信基盤局電波部基幹通信課
橋本 明	(株) NTTドコモ 無線標準化推進室
荒木 正治	ドコモ・テクノロジー(株) 知的財産部
植田 由美	(株) NTTドコモ 無線標準化推進室
大槻 信也	日本電信電話(株) NTTアクセスサービスシステム研究所
枚田 明彦	日本電信電話(株) NTTマイクロシステムインテグレーション 研究所
ジュター 千春	ワシントンコアL.L.C.